



本 部

〒616-8035  
京都市右京区花園妙心寺町53  
養徳院内 横江 桃國

発行・編集

〒509-0301  
岐阜県美濃郡川辺町下麻生1998  
大雄寺内 大野 祥雲

薪流会ホームページ  
<http://www.shinryukai.jp/>

印 刷

〒505-0021  
岐阜県美濃郡加茂市森山町1-1-34  
有限会社 永田印刷

うるお  
水は湿えるに流る  
薪流会総裁 東海大玄 老大師

世界最大級のタイヤ（直径4m 幅130cm 重さ5トン）が、久留米駅前に展示されています。ブリヂストンは久留米が発祥の地です。大量の水が必要なので筑後川沿いに工場があり、このタイヤも製造されています。創業者、石橋正二郎氏の「石（ストーン）」と橋（ブリッジ）から社名が付けられました。

筑後川は昔から暴れ川で、昭和二十八年の大水害では市内全域が水没し、梅林寺周辺の多くの方々が当寺に避難され、井戸・かまど、が大活躍したのです。

また川には寄生虫が生息しており、水泳が禁止されていたので、石橋氏は子供達のために市内の小中学校にプール設備を寄贈されました。

現在、私たちはどこにいても蛇口をひねれば水ができます。飲むことができます。普段、それが当たり前前の生活を送っていますが、そんな国は世界中、日本だけではありませんか？

そして、ひとたび災害等が起これば、その恐ろべき威力と、かけがえのない大切さを痛感させられます。「縁なき衆生は度し難し」と言われますが、その縁をいかにして繋いでいくのか。困っている人々、苦しんでいる方々に寄り添うことができるのか。

会員皆様方と共に、行じていきたいと念じております。

目 次

「水は湿うるえるに流る」 薪流会総裁 東海大玄老大師… 1

第十四回研究会 令和六年七月十日 水 大山本相國寺 精神病理学者講師 野田正彰… 2

「布教の心得」 福山市正法寺住職 栗原正雄… 8

托鉢・義援金報告 … 10

色紙案内 … 12

第十六回研究会 令和六年七月十日(水) 於：大本山相国寺

テーマ「オウム真理教から統一教会へ」

精神病理学者講師 野田 正彰 氏

※後半部分は次号にて掲載いたします

○長澤香静(京都仏教会事務局 長)皆様、大変お忙しい中、また、お暑い中、ご参加賜りまして誠にありがとうございます。

第十六回となります研究会を開催いたします。

二〇二八年四月、京都仏教会は、一般財団法人として発足すると同時に、「宗教と政治検討委員会」および「国家と宗教研究会」を承継し、その成果業績を引き継いで、「宗教と社会実践センター」を設置いたしました。

このセンターには、第一部会「宗教の自由」、第二部会「宗教の法制」、第三部会「宗教と社会」。この三つの部会から成り立っております。

本日は、精神病理学者、野田正彰

先生をお招きしまして、『オウム真理教から統一教会へ』という演題におきまして、これより約一時間にわたります話をお話を賜り、その後は皆様の質疑応答と、このようになっております。

野田先生がさまざまご研究されたことを皆様と一緒に考えてまいりたいと思っております。

また、皆様のお手元には、小冊子『宗教に対する国家の関与を巡る諸問題』という書物も配付させていただきます。

これから一時間にわたります野田正彰先生のご講演を賜りたいと思

思います。題して『オウム真理教から統一教会へ』。

先生、よろしくお願い申し上げます。

○野田正彰

統一教会だけではなくて、オウムの問題も付け加えましたけど、この

いろいろ社会を騒がせた問題のあり方は、オウム真理教から統一教会

じゃなくて、統一教会が戦後のオリ

ジンでして、オウム真理教はある程度、統一教会でのやり方をまねてやっているところがあります。経過から

言いますと、この問題の集大成を、統一教会がしてきたわけで、それを部分的にいろんなカルト教団が学習して使っていると言えます。

ただ、社会的問題の起こった経過から言いますと、オウムのほうが先、サリン事件で大変な問題になって、あのときはもう、ほとんど反対する人もおらずに、一気にオウムに対する解散命令と、そして死刑判決へなだれ込んでいった経過です。

統一教会のほうは組織も大きいですが、犯罪的な行為の広がりも非常

フリーダイヤル 0120-86-2779

仏壇・位牌・寺院用具・仏教美術品

ぬしや仏具店



浜松市浜北区貴布祢504-7 www.nushiya.net

ぬしや工房

お仏壇・ご本尊・仏具・家具調度品の塗替え、修復  
お見積り無料 ご一報ください

に大きいですから、今も続いているわけです。一応そういうことで、この順でやりたいと思います。

さまざまな宗教現象と精神病理学は接点を持っておりませう。私自身は狭義の精神病、統合失調症とかうつ病とかの研究、そして比較文化精神学ということで、さまざまな文化の違いの中の精神的葛藤の研究をしてきたのですが、そんな私でも、宗教にかかわる診察、あるいは鑑定を頼まれることが、思いがけない形でいろいろありました。

例えば、春秋社から私は、『泡だつ妄想共同体（宗教精神病理学からみた日本人の信仰心）』（一九九三年）という本を書いております。そこに、長文の論考がありますけども、奈良県の桜井女子短大の寮で、巨大な男、口裂け男が、夜になると襲ってくるという憑依現象が起りました。それで、大学のほうがおはらいを求めたのですが、おはらいで効かなかったというので、それで一次救急で近くの市民病院へ行き、そのうえで、ちょうど私は奈

良医大の講師をしていたときでしたけど、救急車が第三次救急ということで大病院に運んできた。聞いてみると、八十人近くの女子大生が、全員その男に襲われるという恐怖におびえていました。

私は集団感応性精神病だと判断し、昼間にみんなを集めて、夜どんなふうにも襲われてくるのかという話を一人一人にしてみたら、表出をさせようとなりました。司会しながら話を聞いていたのですが、十五分ぐらいすると、誰かの体が震え始め、これくらいの明るい所ですけど、きゃあと叫んで、順々にばたばた、ばたばたと倒れていきました。

普段の精神科のオーソドックスな治療では、主に憑依が強い人を隔離、入院させ、その他の人と離れさせて順々に治療していくのですが、私はあまりにも多くの人がおかしくなっているの、まとめてやろうと考へ、助手（女医）を泊まり込ませて、治療を寮生全体にしていきました。フランス語ではフォリアドゥ

(Folie a deux) と言いますが、感応性精神病という現象があります。性格的に支配的な人がいて、例えばおばあさんが、「私の家は秋葉神社の筋で、息子はその神様の末えいである」と言い始めます。おばあさんは気性が非常に強くしつかりしており、息子がその妄想に巻き込まれ、つづいて家族全体が巻き込まれた。そのおばあさんが亡くなった後、家族全体がおばあさんは生き返るといふことで、遺体をうちわであおったりしながら、三か月、四か月保持した家族を、鑑定したこともありませう。

都市化の中で、本来消えるはずの憑依現象だとか、感応性の精神病で集団がおかしくなっていく事例の鑑定に当たったりすることもありました。

それから、もちろん刑事事件の鑑定でも宗教にかかわる事例があります。私ももうこんな年になりましたが、福島章という方がおられて、上智大学の教授をされていますが、彼は東大の精神医学の発想で、犯罪者は精神病患者であり大脳

御 法 衣 ・ 莊 嚴 具 調 達

臨 濟 宗 各 本 山 御 用 達

大 黒 屋

株 式 会 社



神 田 法 衣 店

〒603-8207 京 都 市 北 区 紫 竹 牛 若 町 29 番 地 2  
電 話 京 都 (075) 493-3507 番 (代)  
F A X (075) 493-5098 番

の疾病であるという考えを強く持つており、盛んに、全国を飛び回って鑑定していました。私は、いろいろな個々の犯罪者の社会関係を調べて鑑定書を書いてきました。視点の対立から、福島さんも私もいろいろな事件の鑑定を頼まれることがありました。

### 1、オウム真理教がのこしたもの

その程度だったらよかったですですが、オウムのことは何となく、それこそ浅からぬ因縁に付きまとわれました。当時、京都造形芸術大学の教授をしていたころ、オウム真理教建設大臣の早川紀代秀氏が大学にオウムの麻原との対談を企画して来られたことがあります。そのときオウム側が見せてくれた大きなパンフレットには、京都の有名な仏教評論家である山折哲雄さんが、オウムを支持している記事が載っておりました。彼はオウムの支持者でした。それが一つの、最初のきっかけです。そのときに私は、反社会的な教義を持っている宗教団体でも、出発

としては、それはもの考え方だから認めるつもりではある。しかし、あなたの方のように、入ってきた人の脱会に対し問題を起こし続けている教団は、少なくとも近代の市民社会における宗教として容認できない、ということになりました。

そうこうするうちに、オウムは熊本県の波野村で大サティアンを作ろうとしており、地域社会とトラブルになりました。熊本日日新聞から、その集落の人たちと対談をしてほしいということで熊本に行きました。そのときに、麻原との対談が熊本日日新聞に設定されておりました。ただ最終的には建設大臣の早川が私のホテルに来ましたので、私は同じことを言いました。私は、オウム関連事件を詳しく読んでなかつた。帰りがけに、私にちよつと読んで、「あの弁護士一家はどこに行ったのでしょうね」って言ったのです。私は、何のことかわかってなかったのです。弁護士一家の失踪は知っておりましたけど、まさか殺した当事者のキャップが、私に凄んだという

のは、後でわかりました。

そんなこともあって、このときは波野村に行きました。後ろに谷があつて、スギの木が一本倒れておりました。熊本日日新聞の編集委員の春木さんと一緒でした。春木さんは、「嫌だ、そんな恐ろしいこと」と言っていました。丸太を渡つてサティアンに入り、捕まつて、追い返されるということもあつたりしました。

その後、今度は松本でサリン事件があつたりし、いよいよ麻原が捕まるときは、月刊誌「潮」の編集長から、取材に一緒に行つてくれと言われて行きました。

あのときも驚いたのですが、明日、警察が入るといふことで、オウム側は軽トラックに資料をいっぱい積んで、サティアンから運び出されているのです。いったい、こんな捜査とかがあるのだろうか。捜査が入る日をオウム側が知つていて、行動しているのに驚いたことがあります。そのあとで麻原が逮捕されました。それでも私は関係なくなつたと思つていましたが、麻原は、東京地

裁での裁判の途中で、彼の弟子である若い弟子が、尋問中にぶつぶつ意味不明なことを言うようになりまして。裁判の続行が難しくなつて、鑑定になりました。

鑑定に当たつたのは、西山詮医師。宗教評論家も変節、考え方をからつと変える人が結構多いですが、西山さんもかつて、精神病質という概念は間違つているとか、過激なことを言つていた精神科医でした。いつのまにか、東京の検察庁と東京高裁の御用精神科医になつており、彼は麻原の鑑定をして、麻原は詐病であるという鑑定をしました。次に私のほうに、弁護士から麻原の鑑定を求めてきたわけです。

麻原の鑑定は、東京拘置所で、わずか二十分弱ぐらいしか会わせてくれない。しかもアクリルのガラス越しでした。彼はストレッチャーで運ばれてきて、前に座つて、「ああ、うう」とか言いながら、ときどき自分の陰部を触つたり、そんな状態で、会話はまったく不可能でした。それで私は彼を、「拘禁反応によ

る昏迷状態」というふうには鑑定して出したのです。西山さんは仮病説を出しておりまして、その仮病説のもとに、東京高等裁判所は、一審の判決だけで控訴審を認めないということになり、そのまま死刑が確定していきました。

西山鑑定書にはこんなふうには書いてありません。鑑定書には以前に鑑定した医者への批判なんかを書くものではありません。あくまでもその人の精神状態と犯行時の精神状態、責任能力があるか、なしかということを書く。責任能力あり、なしは、裁判官が決めるものですが、一応、参考意見として、それを加えるぐらいが鑑定書なのです。にもかかわらず西山さんは、私の鑑定書に対し拘禁反応として診断して、こんな凶暴な男を治療する精神科が日本にいるか、と書いてあるのです。その後、秋元波留夫さんも精神鑑定を行った。秋元さんは元東大教授であつて、ちょうど西山さんを教えたときの教授ですが、秋元さんは西山さんのことを、こんな学生

を私は教えた覚えがないというようなコメントを出しました。とんでもない鑑定書だと言つて怒つていました。そういういきさつがあつて、二応、麻原の死刑は確定していきました。

それからあと私は、弁護団から頼まれ、東京拘置所で、京都府立医大出身の中川智正君の面接をしました。超常現象だとか、悟りとか、そういうことに没頭していった医学生時代の話を聞いた後、彼は涙ぐみながら言つておりました。大学教育でいったい何を得たのだろう。何もそういうことについて、批判的なものの考え方を身につける機会がなかったということ、涙ぐんでおりました。

そうやこうやで、麻原との係わりがずっと続いており、それでもう終つたと思つていた。ついに二〇一八年七月、死刑が執行されました。私は死刑に反対しましたし、宗教関係でも、東本願寺は死刑に反対の声明を出していました。

死刑は、基本的には再犯を防ぐということが主になっており、さらに

報復感情に應えると考えられています。オウムの事件は、確信犯でしたから、社会的な条件が全然なくなつたときには、再度、凶悪事件を起こす可能性はほとんどありません。それをあえて、こんなに急いで死刑執行するということは間違つていふこと、批判がありました。

私は『麻原死刑』でOKか?』(ユビキタ・スタジオ、二〇〇六年)という本に、論考を書かされました。ただ、執行されて以降、検察庁は遺族に遺体を返さない。シンボルになつてはいけないということなのでしょう。遺族のほうから、遺体を返すことと、それから死刑執行は違法であると民事裁判が起こされました。

刑法上、犯罪行為を行ったことの認識ができるということ、刑が決まるわけです。昏迷状態とか錯乱状態にある人に刑を執行する、処刑をするというのは、受刑能力のない人を殺すということになります。

その時は十数年にわたるカルテ部分ですが、全部、読みました。

死刑執行の二、三か月前の記述はゼロです。まったく書いてありません。それで執行している。ずっと十年間、心因性の昏迷状態で、「ああ、うう」というような状態です。お風呂も連れていって、湯をかけてというふうな状態でした。

そういった人を当日、ストレッチャーに載せていって、首に縄をかけて処刑したということです。これは、受刑能力のない人に処刑したということになりますので、この違法性を遺族が訴えております。

なお、このカルテを出せということ、を弁護団が言つても、治安上の問題があるとか言つて、法務省のほうはずっとカルテを出さなかつたのです。

問題になつて一年ぐらい、出さない、出せとやつていましたが、三年前の十二月に、裁判所命令でカルテを全部出さないということ、私のところにカルテが届いて、膨大なカルテを読みました。

簡単に言いますと、内科医の診察記述と精神科医の診察記述があり、内科医はあくまでも客観的に、ちよつ



それから、国松警視總監をピストルで撃っています。非常に遠くから。それで撃つたという人間が名乗りをあげたりしていても、これも全部うやむやになっております。

それから弁護士一家の殺害についても、殺害に加わった一人が、弁護士を殺したというのを神奈川県警に早くから訴えを出しているのです。彼は良心のやましきから出しているのですが、それを一切、警察は取り調べの対象にしてこなかった。おかしいことがたくさんあります。なぜこうなったのか、全然わからなのまま、オウムの危険性だけがあらわれていったということです。

オウムは、ある意味では天皇制のパロディみたいなことをいっばいやりました。麻原の直結組織を宮内庁とかいつて、日本の保守勢力から見たら、逆鱗に触れるというところがあつたのでしょうか。ターゲットにされて、そして一気に教団として潰されました。いまだに破防法の適用でターゲットにされています。それでも中核にいる人たちは、まだ三派

に分かれながらやっています。

事件のあと、オウムの元信者を診察することもありました。オウムは悟りを進めるために、LSDなど幻覚剤を飲ませているので、普段の状態でも幻覚が見え、幻聴が聞こえるという人が多くいました。

だから、国会でオウムの対策が取られることに決められており、オウムの信者だった人については、その後のフォローはすると、国会でも付帯条項に書いてありました。しかし、私のところへ来る元信者を診察していると、普段の状態でもLSDをたくさん飲ませて、それで悟りを得るといつてやってきたので、幻覚とかビジョン（幻視）がいろいろ見えたりするのです。

だが、全然対応していない。大阪の衛生部に電話をして、法律の付帯条項では、都道府県の衛生部と保健所が対応するということになっていますから、私のところへ来た人は、あなたのところで対応してくださいと電話をすると、「そんな文書は知りません」と応えるのです。ちゃ

んと通達がきているから探してくれどいつたら、しばらくしたら電話がかかってくる、「ありました。先生の言うとおりでした」と。どうされますかと聞くと、「いや、先生を紹介します」と。こういう無責任な対応がでした。

どう対応していいかわからないまま、オウムの人たちは、おそらく幻覚剤を飲まされて精神的に不安定になった人は、いまだに苦しんでいる人もいるでしょう。途中で自殺した人たちもいるでしょう。このんな対応が、この社会ではいつもやられていくわけです。

オウムの話は、これくらいにします。

以上

大本山相国寺 教化活動委員会、京都仏教会

宗教と社会研究実践センター

により編集発行された「旧統一教会問題・信仰の実態と政治」の一頁から十二頁を発行元の許可をいただき引用しました。次号にて続きを掲載します。

## 野田 正彰氏 略歴

(のだ まさあき)

一九四四年、高知県生まれ。一九六九年、北海道大学医学部卒業。長浜赤十字病院精神科部長、神戸市外国語大学教授などを経て、二〇〇四年度より関西学院大学教授。二〇一二年、同定年退職。専攻は比較文化精神医学。

### ■主な著書

『コンピュータ新人類の研究』（文藝春秋一九八七、大宅壮一ノンフィクション賞）  
『喪の途上にて―大事故遺族の悲哀の研究』

（岩波書店、一九九二、講談社ノンフィクション賞）

『災害救援』（岩波新書、一九九五）

『戦争と罪責』（岩波書店、一九九八）

『犯罪と精神医療』（岩波現代文庫、二〇〇二）

『陳真―戦争と平和の旅路』（岩波書店、二〇〇四）

『なぜ怒らないのか』（みすず書房、二〇〇五）

『虜囚の記憶』（みすず書房、二〇〇九）



# 布教の心得

薪流会 会員

福山市 正法寺住職 栗原正雄

薪流会の皆さまにおかれましては、日々ご清祥にて檀信徒の教化にご尽力のこと法幸至極に存じ上げます。

さて、得手不得手があり、人前で話すのは苦手という僧侶もおられることと思います。しかしながら、今日では様々なツールがあります。AI も使い方次第です。活用して布教に努めたいものです。

ところで、以前にある檀信徒の年忌法要で考えさせられる出来事が二件ありました。一件は、五代の男性が亡くなり葬儀を終えて四十九日満中陰の法要を勤めたときのことです。この男性は事情により離婚し一人で暮らしていたのですが、健康を害し入退院を繰り返してました。孤独死で数日後

に部屋で病死していたのを近所に住む娘さんが発見しました。親戚との付き合いも希薄で家族葬で忌明け法要も少人数での法事でした。後でいただいたお布施の包み

を開けて驚きました。中途半端な金額が入っているのです。その金額を見て気づきました。巷で話題になった大手ネット通販がはじめた「お坊さん便」に記載されていた金額でした。娘さんはお寺にも親族にも相談しにくかったのか、

いや相談できなかったのでしょう。ネットで検索してその金額を包んだようです。檀家といっても新亡でしたので日頃の付き合いは皆無でしたが、私自身も布教教化の不充分を深く反省させられました。

もう一件は、九十六歳の天寿を全うされた男性が亡くなられ葬儀、忌明けの法事を勤めたときのことです。同じく家族葬ではありませんが故人を偲び感謝の心の満ちた葬儀と満中陰忌法要でした。その

法事の席で、社会人になり結婚し、子どもさんを連れてお参りされていた故人のお孫さんの男性が、子どもの頃、祖父母と一緒にお寺の行事に参加したときのことを語ってくれました。

「今でも覚えているんです。和尚さんが話してくれた『こちらから』という話を」と、もう二十年以上前のことで私はすっかり忘れていましたが、彼から詳しく聞いて思い出しました。確か坂村貞民氏の「こちらから」という詩を紹介

寺院仏像仏具 製造 修理 販売



有限会社 天真堂中央社寺工藝社

〒 451-0031 愛知県名古屋市区城西1丁目10-21  
TEL 052-532-0607  
FAX 052-532-0608

http://tensindo.co.jp  
E-mail info@tensindo.co.jp

介したことを・・・。

こちらから頭を下げる

こちらから挨拶する

こちらから手を合わせる

こちらから詫ひる

こちらから声をかける

すべてこちらからすれば

争いもなく

なごやかにゆく

こちらから《あーい》と呼ばば

あちらから《あーい》と答え

赤ん坊が泣けば

お母さんが飛んでくる

すべて自然も人間もそうでき

ている

仏様へもこちらから近づいて

いこう

どんなにか喜ばれることだろう

改めて思いだし坂村真民氏の詩

力に、言葉の力に驚くとともに布

教化することの大切さを痛感い

たしました。

今日、コロナ禍が拍車をかけ寺  
院を取り巻く環境は一段と厳しく

なりました。特に葬儀、年忌法要

等の在り方やお墓の問題は、寺院

にとつては大変厳しい状況であり

ます。僧侶自らが深く内省し、檀

信徒に対して懇切に布教すべく努

力精進をしなければと切実に感じ

ます。

そこで、最後に私が人前で話す

ときや文章を書くときに、大切な

こととして心がけている井上ひさ

し氏の言葉を紹介させていただき

ます。

むずかしいことをやさしく

やさしいことをふかく

ふかいことをおもしろく

おもしろいことをまじめに

まじめなことをゆかいに

そしてゆかいなことは

あくまでゆかいに



プロフィール

栗原 正雄  
くりはら しょうゆう



一九五六年(昭和三十年)広島県福山市に生まれる。

京都花園大学社会福祉学科卒業後、名古屋市の臨済宗妙心寺派専門道場、徳源寺にて妙心寺派元管長松山萬密老師、嶺興嶽老師のもとで修行。

現在、広島県福山市鞆町の正法寺住職。妙心寺派布教師。

平成十二年四月一日より平成十五年三月三十一日まで大本山妙心寺の常任布教師、布教伝道室長を務める。

平成十七年五月二十六日より妙心寺派教学部長並びに教化センター所長に就任、平成二十一年四月一日より洛西花園幼稚園園長を一年間兼任。

平成二十五年五月二十六日より妙心寺派宗務総長に二期八年就任。

令和三年十月一日より学校法人花園学園学園長に就任し現在に至る。

御法衣・荘厳具・稚児貸衣裳

山田八郎法衣店

〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39-31  
電話 (052) 241-1817 FAX (052) 241-1834

令和七年度 托鉢義援金

(順不同・敬称略)

梅林寺 二万円 悠江軒老大師 福岡県久留米市(妙)
平林寺 五万円 江楓室老大師 埼玉県新座市(妙)
臨濟寺 二万円 無底窟老大師 静岡県静岡市(妙)
公益社 京都府京都市

一万円

瑞應寺 倉内宗寛 兵庫県明石市(妙)
興禅寺 石川元信 栃木県宇都宮市(妙)
温泉寺 岩浅宏観 岐阜県下呂市(妙)
雲龍寺 保子令謙 岐阜県可児市(妙)
福寿院 荻須智善 京都府京都市(妙)
見性寺 松山正宗 静岡県磐田市(妙)
多福寺 柳澤貞尚 埼玉県入間市(妙)
禅台寺 田中義峰 岐阜県可児市(妙)
長松寺 大野憲宗 愛知県名古屋市中区(妙)
勝光寺 川松宗勝 埼玉県所沢市(妙)
天福寺 鬼頭孝道 岐阜県土岐市(妙)
海福寺 城 良導 愛知県名古屋市中区(妙)
保寧寺 小崎無一 埼玉県加須市(妙)
禅昌寺 鈴木宗孝 岐阜県下呂市(妙)
蓮光寺 佐久間眞澄 静岡県沼津市(妙)
宗清寺 金井英裕 埼玉県児玉郡(妙)
大龍寺 寺町宗峰 岐阜県岐阜市(妙)
善勝寺 明見弘道 埼玉県鴻巣市(妙)
徳蓮院 井村道弘 三重県名張市(曹洞宗)
菩提樹院 佐橋玄峰 静岡県静岡市(妙)

五千円

慶長院 白鳥隆道 岐阜県美濃市(妙)
松雲寺 福島文隆 静岡県静岡市(妙)
本覺寺 小島良徹 岐阜県加茂郡(妙)
高源寺 菅井一磨 茨城県取手市(妙)
禅隆寺 稲葉宗忠 愛知県名古屋市中区(妙)

光正寺 平林正諄 静岡県浜松市(方)
宝満寺 三谷方外 和歌山県田辺市(妙)
専修寺 岸野亮哉 京都府京都市(浄土宗)
天澤院 天安宗道 岐阜県岐阜市(妙)
西蔵寺 立花義彰 静岡県静岡市(妙)
菊水寺 渡邊文光 愛知県名古屋市中区(妙)
明鏡寺 酒井宗博 岐阜県加茂郡(妙)
妙雲寺 加藤明徹 栃木県那須塩原市(妙)
大池寺 清水寿晴 滋賀県甲賀市(妙)
大蔵院 櫻木徳宗 兵庫縣明石市(南)
松源寺 小澤全和 岐阜県多治見市(妙)
瑞應寺 小島法久 岐阜県中津川市(妙)
圓通寺 伊藤寧浩 岐阜県羽島郡(妙)
長永寺 吉田和広 静岡県浜松市(方)
福昌寺 尾関慎澄 愛知県一宮市(妙)
龍泉寺 鈴木光雄 静岡県駿東郡(妙)
崇福寺 東海宏徳 岐阜県岐阜市(妙)
宗榮寺 日坂宜祥 愛知県犬山市(妙)

四千元

春城院 植木昭道 静岡県賀茂郡(妙)

三千元

大林寺 三浦泰道 岐阜県山県市(妙)
常善寺 武田董裕 岐阜県加茂郡(妙)
桃林寺 山本宗孝 岐阜県各務原市(妙)
普救寺 伊藤治範 岐阜県山県市(妙)
亘雲寺 西村寛城 東京都江東区(妙)
無染寺 平松慈恵 岐阜県各務原市(妙)
大儀寺 荻谷典昌 岐阜県可児市(妙)
西福寺 大雅清光 岐阜県可児市(妙)
龍月院 青山亘宥 岐阜県美濃加茂市(妙)
永昌寺 峯浦啓秀 岐阜県山県市(妙)
隣松寺 徳山宗達 岐阜県不破郡(妙)

一千元

慈雲寺 長谷川雄一 岐阜県本巣市(妙)
定法院 野口宗丹 岐阜県山県市(妙)

托鉢報告

浜松托鉢

令和七年十一月十三日、甘露寺を会所に、周辺部を托鉢致しました。九時半参集(会員・役員・縁者総勢五名)十時より托鉢出向、帰山。この度の托鉢に対し各方面から多大なるご援助、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

去る十一月十三日、静岡県浜松市の甘露寺を会所に役員等五名で午前十時より浜松市内を托鉢致しました。当日の浄財と、会員はじめ趣旨にご賛同頂きました多くの寺院様方からの浄財を

\*東海交通遺児を励ます会に十万円。
\*ネパール地震チャリリス村小学生支援金として十万円。
\*静岡新聞愛の都市訪問に十万円。

各団体に寄付致しました。皆様のご協力に深謝いたします。



臨濟宗薪流会 御中
令和7年12月26日
公益財団法人東海交通遺児を励ます会
平素は、当会の交通遺児支援事業に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、この度は、ご寄付を賜り誠にありがとうございます。
「交通事故をなくし、これ以上遺児を絶対に増やしてはならない」との切実な願いにより昭和44年3月に発足しました。56年が経ち記念誌(50年誌)や会会の情報発信として年3回発行の会報「はばたけ」もこの秋(10月号)で100号を迎えることができました。皆様には、長きにわたり心より感謝申し上げます。
当会は、12月に開催の交通遺児を励ます大会にて「小学校入学祝金」、3月に開催の中学を卒業する交通遺児を励ます大会にて「中学校卒業祝金」、また二十歳の新たな門出を迎えた交通遺児に記念品を贈呈しております。
そして、夏にはグラウンディングや保護者とお話を通して繋がり合う親子ふれあい懇親会等の行事も毎年開催しております。
また、交通遺児世帯の現実を知りたいことでドライバーの安全意識の向上と重要性を伝える活動をしています。
皆様からのご寄付は、交通遺児の自立への支援と交通事故により子ども達が心を痛めない社会を強く願うと共に交通安全活動に生かしたいと存じます。
今後とも未来ある子ども達のために、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
「親子ふれあい旅行」に参加した子どものお礼の手紙です。 高3
今回も楽しい旅を企画してくださりありがとうございました。1日目、渋滞に巻き込まれて時間が押してしまったけど、初めてのオルゴール作りでは微調整しながら自分が選んだ曲ができていくのがとても楽しかったです。諏訪大社にいかけてお賽銭も出ましたし菊花奉納大会でみた菊の花よりも何倍も大きく穂がびらびらと揺られて1つ1つが本当に綺麗で感激しました。本当にすごかったです。色の豊富でした。夕食もバイキングでとてもおいしかったです。食後のレクの新聞じゃんけんでは5回やって最後に1回勝つことができました。レクも楽しかったです。
2日目は、朝ビュッフェのフルーツサンドがとてもおいしかったです。...ロープウェイはぎゅぎゅ詰めて職員電車みたいだったけど段々と景色が変わっていくのがおもしろかったです。上に行ったら急に冬になり風もすご、息は白くなり、すべりそうで、とにかく見渡す限りがきれいな景色でした。かみかみでの体験も身近だったけど知らないことが沢山あって楽しかったです。料理もめっちゃおいしかったです。またいつか来たいと思います。楽しい思い出をありがとうございました。

2026年1月1日

日本 薪流会御中

ご厚意への感謝

ご担当者様

この度は、ダーデン郡 ルビーバレー地方自治体 4区 チャリス村のシュリーカニヤデビ小学校において、毎年、すべての生徒にペンやノート等教育に必要な教材をお与えくださったことを心より厚く御礼申し上げます。

申請者 アスパラ B.K  
4学年 出席番号2番  
シュリーカニヤデビ小学校

日本語訳:チャリス村よりお礼の手紙

श्री Shinryu Kai, Japan

मिती 2022/05/19/6

विषय:- धन्यवाद सन्देशमा ।

प्रतिपद्य

प्रत्यक्ष विद्यार्थीमा ध्यायिदि: जिल्ला रुबिबाली गाउँपालिका वडा नं. ४ चालिस गाउँ स्थित हाम्रो भए श्री कन्यादेवि आ. वि. मा अल्पयमरत हामी सम्पूर्ण विद्यार्थी हस्तै लागि प्रत्यक्ष वर्ष ४ औं दिन साप्ताहिक तथा कति कति उपलब्ध गरीदिनु भएछौ भए हामी सम्पूर्ण विद्यार्थीहरू र अरौं धनियत तर्फबाट हार्दिक धन्यवाद अर्पण गर्दछौ ।

सिक्क

अस्तरा वि. क APSAR  
कक्षा - ४  
रोल नं. १  
श्री कन्यादेवि आ. वि. चालिस

寄附金受領証

No. 000102

住所 岐阜県加茂郡川辺町下麻生1998

氏名 臨済宗 薪流会

¥ 100,000 -

但し、社会福祉事業への助成及び支援活動である「愛の都市訪問」への寄附金として受領いたしました。

2025年12月16日

〒422-8033 静岡市駿河区登呂3丁目  
公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化振興会

代表理事 大



※本寄附金は、所得税法第78条該当の寄附金控除(又は法人税法第37条第4項該当の特別損金限度額の寄附金として損金算入)の対象となります。この受領証は確定申告の際その証拠資料となります。



思わぬ追加費用はございません。

事前相談・式場見学 受付中

誠実な価格を貫く、ブライツホールの家族葬。



北ブライツホール / 中央ブライツホール / 南ブライツホール / 西ブライツホール  
山科ブライツホール / 久世橋ブライツホール / 伏見ブライツホール / 向島宇治ブライツホール  
大津ブライツホール / 草津栗東ブライツホール / 坂本ブライツホール / 堅田ブライツホール  
守山ブライツホール / 別邸 向島宇治 / 別邸 大津 / 協賛施設 岡崎別院法要会館

公益社  
ブライツホール

24時間受付

ブライツホール

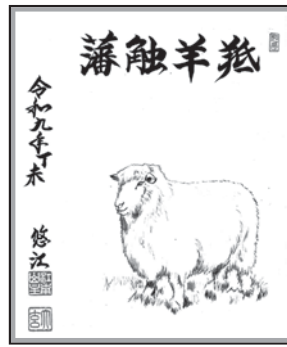
0120-004-200



お正月用色紙御案内

悠江軒老大師揮毫色紙

解説書・たとう紙付(折込み済)ご好評頂いております総裁猊下揮毫の正月用色紙を本年も発売致します。



令和9年 お正月色紙見本(工芸印刷)

一枚 三三〇円(送料別・税込)  
(但し一般は四三〇円)

※寺院の方は五〇枚単位にて御願  
い致します。(但し在家の方は十枚  
単位より受付致します。)

申込み先(左記の二方寺にて受け付けます)

大雄寺 〒五〇九二〇三〇一

岐阜県加茂郡川辺町下麻生一九九八

TEL〇五七四一五三二五二〇

FAX〇五七四一五三二六九三二

申込期日 令和八年十月十日〆切

発 送 十一月末日頃

令和七年度会計報告事業報告及び、令和  
八年度予算・事業計画は諸般の事情に  
より薪流会ホームページ  
(下記QR)要覧に掲載さ  
せていただきました。



https://www.shinryukai.jp/

各 大 本 山 御 用 達

兵 兵 兵  
老 舖

# 草木兵助法衣店

〒604-0024 京都市中京区衣棚通御池上る下妙覚寺町

京都 (075) TEL 221-0934 (代表)  
FAX 241-0773

樹木葬、お墓じまい、墓地区画整理、無縁墳墓の改葬 なんでもご相談ください

創業 昭和14年



## メモリアルアートの大野屋

お墓のことなら  
大野屋へご相談ください

通話  
無料

携帯からもOK 営業時間 / 9:00から17:00 (水曜定休)

**0120-02-8888**

本 社 ☎ 042-847-4111 〒190-0012 東京都立川市曙町 2-22-20 立川センタービル 9F

関西墓石事業部 ☎ 0120-30-7777 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4-1108 大阪駅前第四ビル 11F

北大阪エリア ☎ 0120-70-0177 〒666-0033 兵庫県川西市栄町10-5 パルティ川西403

京滋・東海エリア ☎ 0120-31-7777 〒610-0121 京都府城陽市寺田大谷175-1 城陽霊苑内

阪和エリア ☎ 0120-61-3388 〒585-0041 大阪府南河内郡千早赤阪村水分851

兵庫エリア ☎ 0120-35-8805 〒651-1263 兵庫県神戸市北区山田町西下字狼谷3-1

● ホームページ : <https://www.ohnoya.co.jp/>

